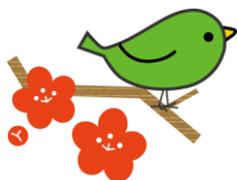


きんもくせい

令和4年2月15日発行
静岡県養護教諭研究会
代表 臼井悦子
(小山町立小山中学校)



人の温もりと支えに感謝

静岡県養護教諭研究会 会長 臼井悦子

「私たちは、たくさんの人に支えられて生きている」頭の中ではよく理解していますが、日常生活の中で意識するのは難しいものです。最近、そのことを実感する出来事がありました。3学期の始まりの日、私の勤務地では、お昼頃から夕方までかなりの雪が降り積もり、凍結によるけがが危惧されました。しかし、翌朝の出勤途中、通学路の全ての歩道に一塊の雪もなく、きれいに整備されていることに気付きました。地域の方々が自分の家の前の雪を少しずつつかいてくださったのです。そして、早朝出勤した職員の手で昇降口前を整えたこともあり、一人の転倒者も出ずことなく、滞りなく朝の健康観察を行うことができました。そんな小さな出来事ですが、人の温もりと支えをしみじみと感じました。

今期の2年間で振り返ると、コロナ対応に追われ、たいへんなことが多かったことは間違いありませんが、本当にたくさんの人に支えられ、新しいことへ挑戦する機会をいただけたのだと感慨深い気持ちになります。研修会にオンライン会議を取り入れたのは、令和2年度の第3回代表者研修会からでした。その後、全会員とつながることはできないか、夏季研修会をライブ配信することは可能かなど様々な人に助言を求め、たどり着いたのがCラーニングを取り入れた研修でしたが、Cラーニングへの登録を会員の皆様にしていただくということは、まさに挑戦でした。また、冬季研修会にオンデマンド動画配信を試みたことで、平山先生のお話をじっくり聴くことができ、コロナ禍でも仲間がすぐそばにいるように感じたという声を多数いただきました。お一人お一人の感想を読む度に、「やってよかった」「同じ気持ちでいてくれる」と私自身が励まされました。

降り積もる雪を少しずつ取り除いてくれる人々がいるように、研究会が進む道を様々な方が指し示してくださったそんな思いが込み上げてきます。今期、関わってくださった全ての方々に感謝を申し上げ、その御縁を来期へつなげていきたいと思えます。

お礼

この2年間は、コロナ禍により、顔を合わせての研修会の機会は少なかったのですが、オンライン研修やメールでのやりとりなど、試行錯誤を重ねて各々役員の仕事に取り組んで参りました。皆様の御支援のおかげで、2年間の任期を無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。

令和2・3年度 静岡県養護教諭研究会役員一同

冬季研修会報告



今年度の冬季研修会は、オンデマンド動画配信とし、令和3年12月20日～令和4年1月20日までの期間、C-ラーニングにて公開し、324人の会員が視聴しました。講師に、静岡市立東中学校 養護教諭 平山美奈子先生をお迎えし、「養護教諭のフレキシブルマインド」について、養護教諭実践事例集17を用いてお話をいただきました。講話の内容や視聴者の感想をお伝えします。

養護教諭が行う健康相談は、学校保健安全法にも位置づけられている。健康相談を行う際、児童生徒の健康課題は何なのかを見極めると同時に、健康な生活を送るために身につけさせたい必要な力が何かも見極め、解決の手立てと教育的支援の両輪で行うことが求められる。

現代を生きる子供たちに必要な4つの力

- (1) 心身の健康に関する知識・理解
- (2) 自己有用感・自己肯定感
- (3) 自ら意思決定・行動選択する力
- (4) 他者と関わる力

実践事例集17の事例は、「気づく」「見極める」「関わる」「連携する」の流れを軸にまとめてある。それから、「子供たちにつけたい力」とその手立ても明記してある。うまくいった支援とうまくいかなかった支援を「顔マーク😊☹️」で示してある。「いつもとちょっと違うな」という感覚が、日頃から大切である。ケース会議は、開催目的によりフレキシブルに対応し、タイムリーかつ迅速に行うのがよい。

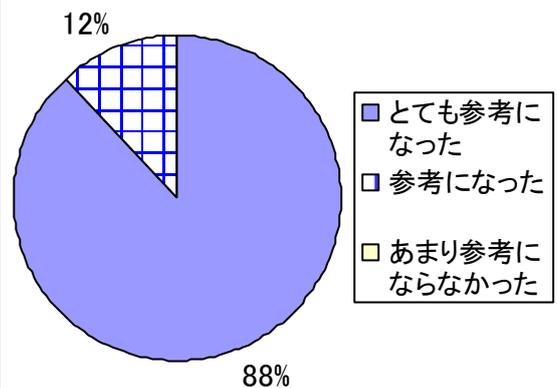
養護教諭が「困った」と声を上げることで、仲間からいろいろな知恵を得て、前に進むことができる。



<視聴者の感想>

- ・保健室で「困った」と思ったときに、事例集17を開けば何かヒントがあるかもしれない、仲間の知恵を借りることができるかもしれないという安心感が生まれた。
- ・看護師でもカウンセラーでもなく養護教諭として、自己解決能力を育むために4つのポイントを意識して支援すること、長期・短期の目標を決めること、再検討することの大切さを学んだ。
- ・動画配信による研修だと、自分のペースで聴いたり、もう一度聴きたいお話は巻き戻して聴いたりできるのでとてもよい研修会だった。

講話は参考になりましたか？



令和2年11月に会員の皆様に御協力いただいたアンケート調査の結果も、余すところなく事例集に掲載されています。『『すぐ近くに仲間がいる』そう感じてほしくて、編集をした』とおっしゃる平山先生、そして11人の編集委員の思いが詰まった1冊となっています。

ぜひ各地区においても御活用ください。

